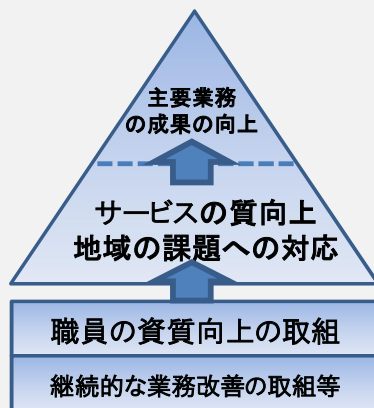


ハローワーク総合評価について

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

(1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 従来の取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - ① 業務の質に関する**補助指標**
 - ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③ 中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



(2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果(主要指標)を毎月公表。
- ・ 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表。

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。
 - ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導。
 - ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導。
 - ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開。

次年度以降も
(1)~(3)を実施

令和5年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務の安定所別目標値等

1 主要指標（業務目標）

項目	所別 就職件数（一般）	充足数 （一般、受理地ベース）	雇用保険受給者の 早期再就職件数
沖縄局	20,571	19,282	7,786
令和4年度実績値	20,129	19,587	7,206
那覇所	8,721	8,985	3,784
令和4年度実績値	8,481	9,035	3,518
沖縄所	6,464	5,547	2,684
令和4年度実績値	6,433	5,638	2,455
名護所	2,110	1,800	654
令和4年度実績値	1,969	1,767	584
宮古所	1,741	1,504	322
令和4年度実績値	1,786	1,731	315
八重山所	1,535	1,446	342
令和4年度実績値	1,460	1,416	334

2 補助指標（業務目標）

項目	所別 満足度（求職者）	満足度（求人者）
全所共通	90.0%	90.0%

3 重点指標（業務目標）

項目	所別 生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	障害者の就職件数	新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合	公的職業訓練の修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
那覇所	65.0%	884	2,553	496	—	466	95.1%	2,072	246
沖縄所	64.7%	624	—	376	—	—	95.1%	2,071	155
名護所	59.2%	—	—	143	—	—	—	—	—
宮古所	—	57	—	70	—	—	—	—	—
八重山所	—	—	—	65	—	—	—	237	—